

# — 若年女性を取り巻く現状 —



特定非営利活動法人 BONDプロジェクト

## 「10代20代の生きづらさを抱える女の子のための支援」

困難を抱えた少女たちにとって相談しやすい環境をつくり、虐待、性暴力、望まない妊娠・出産、非行、依存症、自傷行為、ひきこもりなど『生きづらさ』を抱えた少女たちの声を聞き続けている。

繁華街での声かけ活動のほか、相談対応を通して一人ひとりをエンパワメントするとともに、専門機関との連携、同行支援、緊急時の一時的な保護を実施している。

2009年設立。渋谷を拠点に活動。

- 代表者 橘 ジュン
- 規模 スタッフ6人 ボランティア3人



活動内容

# 聴く

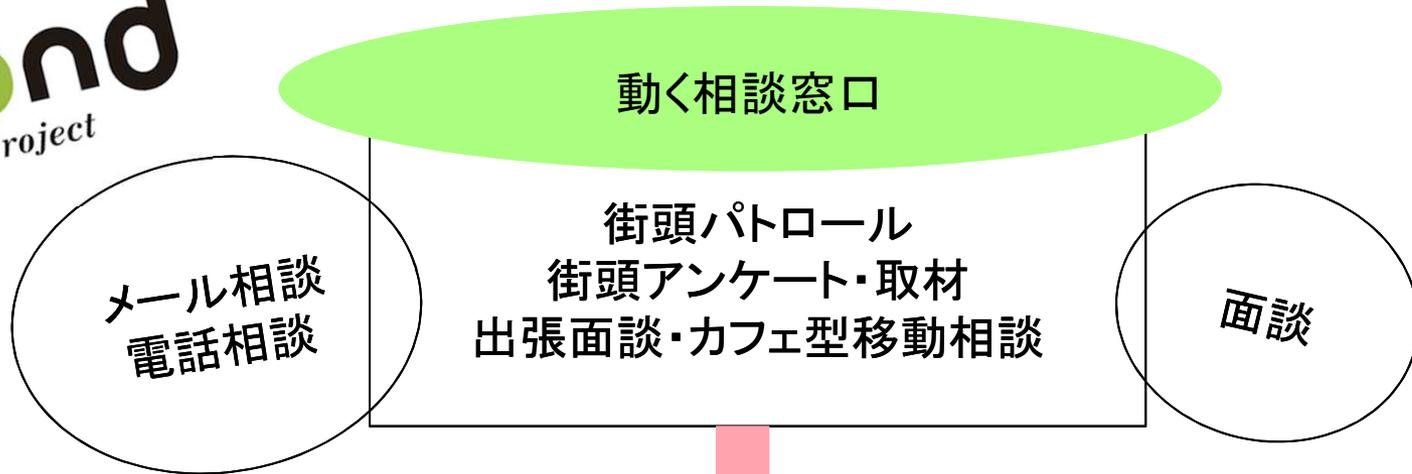
- メール相談
- 電話相談
- 面接相談
- 街頭パトロール
- 街頭アンケート
- カフェ型移動相談

- フリーペーパー  
「VOICES MAGAZINE」発行
- 講演会・啓発活動
- 10代20代女性を対象としたイベント

# 伝える

# 繋げる

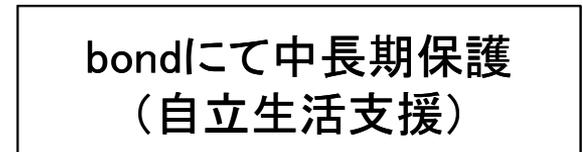
- 弁護士と連携し、他専門機関へ繋ぐ
- 一時保護、同行支援
- 中長期保護(自立生活支援)



シェルターでの一時保護



- 安全な場所(衣食住)の提供
- 状況、気持ちの整理(カウンセリング)
- 次のステップを決め、後押し



# bond Project (本部)



- ・電話相談: 毎週 水曜22:00-翌4:00
- ・メール相談: 24時間受付
- ・面談/同行支援/緊急時の一時的な保護: 随時対応

## bond Project@あらかわ 相談室

問題を抱えながらも公的な相談窓口へ行けず、声をあげられずにいる女の子たちのために開設。

他機関との連携、相談のしやすさを重視。

相談者が必要とする社会資源に繋ぐことを目標に掲げる。

- ・開室日: 毎週 火・木・日曜14:00-20:00
- ・電話相談、面談を実施中



少女・若い女性に寄り添う

# 若草プロジェクト



若年女性がアクセス  
しやすいツール  
「LINE」を入口  
とした相談窓口

- ・呼びかけ人: 瀬戸内寂聴さん、村木厚子さん(前厚生労働事務次官)、他
- ・ネットワーク: 弁護士、地域支援者、他

全国からの相談に対応。  
支援者同士のネットワークを作り、  
相談者のニーズに合った支援に繋げる。

# BONDプロジェクトに届く声【相談件数】 2016年1月～2016年12月

	bond本部				あらかわ			同行支援	保護	他機関連携
	メール	電話（通話）	電話（着信）	面談	電話（通話）	電話（着信）	面談			
1月	1163	59	1223	123	107	1878	18	3	121	49
2月	1009	59	1435	89	96	1393	18	2	88	59
3月	773	72	1248	116	98	1029	10	2	113	62
4月	728	40	725	123	83	972	6	1	123	31
5月	931	50	1265	124	102	1195	18	1	124	31
6月	990	66	2059	124	108	1796	23	2	120	30
7月	898	62	1705	118	107	1887	20	4	114	35
8月	1277	67	2175	85	115	1914	28	3	76	32
9月	1416	49	743	77	98	1531	20	4	71	33
10月	1171	63	1477	70	105	1553	17	5	65	34
11月	1102	83	982	55	115	909	23	3	49	10
12月	937	62	594	44	113	537	19	6	41	1
合計	12395	732	15631	1148	1247	16594	220	36	1105	407

※11月着信数は電話機の不具合によりカウントできるもののみを計上。(本部、あらかわ共に)

メール

24時間受付

bond本部

電話相談:週1回・6時間  
面談:随時対応

bond@あらかわ

電話相談:週3回・各3時間  
面談:週3回・最大3名/日

同行支援

病院(産婦人科)、警察、児童相談所、婦人相談、各種手続きなど

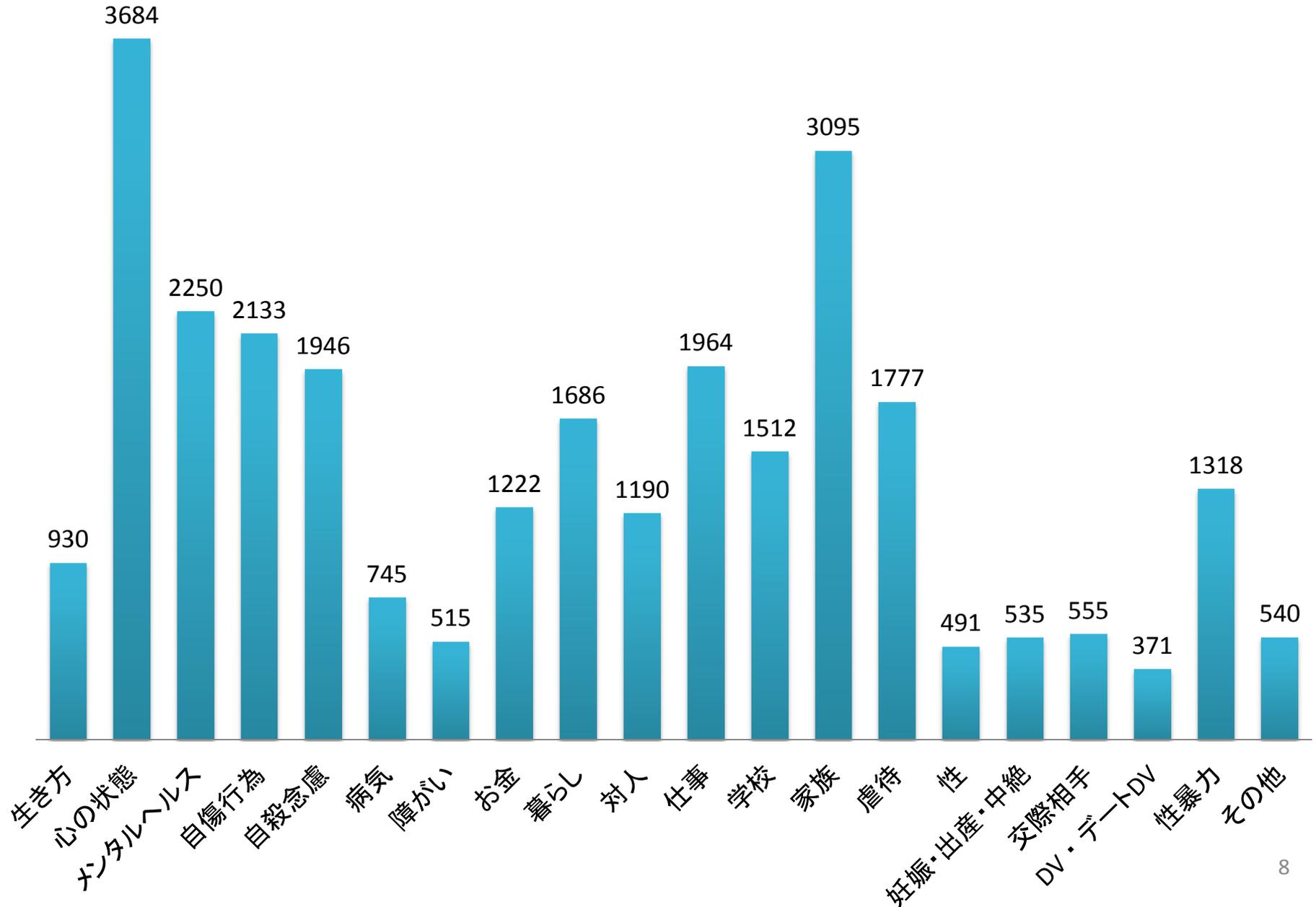
他機関連携

病院(精神科)、福祉事務所、児童相談所(委託保護)、弁護士など

# 問題の背景要因

2016年1月～12月 面談・電話相談より

(複数回答)



## 支援を受けなければいけない子ほど繋がらない

### なぜ相談に至らないのか



- ▼情報を知らなかった
- ▼危害を加えたり利用する大人ではない大人(安全な大人)との繋がりがなかった
- ▼人間不信、大人不信  
→否定される、理解してもらえない、受け入れてもらえない、  
見捨てられたくない、親や学校や友達にバレてしまう(これまでの経験より)
- ▼自分だけかと思っていた→とてもじゃないけど言えない  
みんなそうかと思っていた→当たり前のことだから言う必要がない
- ▼自己肯定感が低い  
→自分が悪い、自分なんかが相談してはいけない、もっと辛い思いをしている人がいる、  
自分なんてどうなってもいい
- ▼親を悪者(または犯罪者)にしたくない、迷惑をかけたくない、悲しませたくない
- ▼役所、相談先などに親族や知り合いがいる(地方の子に多い)

## 1、性暴力被害者へのケアの充実

「被害者」と認められるためのハードルが高いがために、支援を受けることができず被害を一人で抱え込んでいる若年女性が多くいます。

親に援助してもらえない、保険証が手元にない、交通手段がない、お金がない、周りに知られたくない等の理由により泣き寝入りする子たちがたくさんいます。

## 2、法、制度からこぼれ落ちている若年女性のケア

法律や制度の狭間にいる若年女性の居場所、相談窓口、シェルターの設置。

「居場所がない10代の子」のための、犯罪が起こる前の居場所作り。

17歳までは児童福祉法があり、児童相談所に相談できます。本来高校生であれば18歳でも児童相談所で対応してもらえることが可能であるにも関わらず、18歳もしくは18歳になる数週間前から支援を受けることが非常に困難な状況にあります。

また、18歳からは児童福祉法から外れるが、未成年であるため保証人の関係で住居の契約ができない、お金がない、社会スキルや生活スキルが十分に身につけていないなど、自立への準備が出来ていない状況にあるにも関わらず、誰にも頼ることができず困っている子が多くいます。そうした若年女性は犯罪被害や性搾取にあいやすく、よりハイリスクな状況に陥ってしまいます。

## 3、若年女性の中長期的なフォローを含めたトータルサポートができる「相談センター」の設置

若年女性は「相談をする」といったことに大きな抵抗を抱く傾向にあります。

自分はその支援対象に当てはまるのか、否定されたくない、見捨てられたくない、何を話していいのかわからないなど、本当の気持ちや相談内容を話せるようになるまでにも非常に時間がかかります。

#### **4、性教育、SNS、JKビジネス等に関する教育現場での「リテラシー教育」の充実**

現在の青少年は、性、SNS、JKビジネスなど、これらの受け止め方や使い方、危険性を知らずに気軽に介入しやすい環境にあります。JKビジネスにおいても「ただの割のいいバイト」だと思い、風俗だということやその先の危険性を知らずに安全なアルバイトと思い踏み込んでしまう子も多くいます。

(渋谷での街頭アンケートで「JKビジネス」について10代20代の女性に聞いたところ、驚くことに「JKビジネス」という言葉を知っている女の子はほとんどいませんでした。補足、説明すると「知っている」「友達がやっていた」など理解した様子が見えましたが、このことから、若年世代にとってJKビジネスが身近なものではあるが、危機感や違和感を抱いているわけではないことも汲み取れます。)

#### **5、行政だけでは担うことができない活動をしている民間団体等の資金確保**

問題を抱え、困った状況にありながらも公的支援の対象となりにくい若年女性は多く、民間団体が狭間を埋める役割を担っています。

相談は増え続けており、よりケアが行き届くよう資金の確保が必要です。

## サポーター募集・緊急募金のお願い！！

活動を継続していくために、ご協力をお願いいたします。

### ◆正サポーター(個人・団体)

年会費 一括払い:46,000円

分割払い:毎月4,000円

特典 1、活動報告会 参加費無料  
2、bond主催イベント 参加費1割引き  
3、活動報告「news web letter」の配信  
4、VOICES MAGAZINE発行時郵送0円

### ◆賛助会員(個人・団体)

一口 5,000円(一口以上)

特典 活動報告「news web letter」の配信

サポーターのお申し込みは、ホームページよりお願いいたします。

3,000円で 一人の女の子に温かい食事や飲み物を提供できます。

5,000円で 虐待や犯罪被害に遭い、家に帰れない子を一人緊急保護することができます。(食事、着替え、衛生用品代など)

10,000円で 虐待や犯罪被害に遭い、家に帰れない子を一人緊急保護することができます。(食事、着替え、衛生用品、病院診察代、交通費など)

## ◆お振込先◆

### 【三菱東京UFJ銀行】

三菱東京UFJ銀行 四谷支店

店番 051

普通 0062778

### 【ゆうちょ銀行】

ゆうちょ銀行 ○一九店

当座預金 0362212

BONDプロジェクト

### 【ゆうちょ振替】

口座番号 00160-1-362212

口座名称 トクヒ)ボンドプロジェクト





女の子たちの自立支援のための

charibon by value books

# 「本っとうありがとうプロジェクト」

ご家庭で読み終えた本はありませんか？ それをご寄付いただくと、生きづらさを抱える女の子たちの自立を支援する活動に役立てることができます。



## ○「チャリボン」とは？



チャリボンとは株式会社バリューブックスが運営する、古本のリユースによるNPO・NGOの支援活動です。詳しくはホームページ → <http://www.charibon.jp/about/>

## ○「本っとうありがとうプロジェクト」とは？

### ●「読み終えた本」が、女の子たちの自立を支援する活動に役立ちます。

自己肯定感の希薄さ、対人不安、社会経験の不足によって、生きづらさを抱えている女の子たちが、自立の道を模索できるよう支援するために、リサイクルにご協力ください。あなたの元に眠る古本で、何人かの女の子たちが自立できる可能性があります。

### ●単行本が2000冊※集まったら、こんなことができます。 ※買取価格が50円の場合

「リストカット、オーバードーズ、レイプなどにより、安心して眠れない状態にある延100名の女の子たちに、自立的で健康的な生活を立て直すためのサポートを提供できます。」

リストカット、オーバードーズ、レイプなどにより、安心して眠れない状態にある子たちは、薬にしか頼ることができない子が多く、それによるリスクも大きいです。講師から、健康的な生活を営む上での豊かな知識と方法、楽しみのカウンセリングを受けることで、心身のバランスを調え、彼女たちの社会復帰へ繋げることができます。

「250人の女の子たちに飲み物と人と関わり合える場を与えることができます。」

人と触れ合いを求めているけれど、大人を信用できない子が多く、異なった形で出逢いを求める子もいます。気軽に立ち寄って、スタッフたちと話をしたり、人と触れ合うきっかけを与えることで、コミュニケーションをとりながら彼女たちをサポートすることができます。

「10人の女の子を専門機関へ繋げることができます。」

問題を抱えている女の子たちは、金銭的にも専門機関へ相談できる子はとても少ないです。弁護士、臨床心理士、心理カウンセラー等に繋げることにより、彼女たちの問題をよりよい状態で緩和することができます。



## ●「本っとうありがとうプロジェクト」の流れ



### NPO法人「bond Project」とは

NPO法人「bond Project」は、女の子たちの生き方の選択肢を増やし、寄り添いながら一緒に考えていく団体です。生きづらさを抱えている女の子たちは、自己肯定感の希薄さ、対人不安、社会経験の不足によって、きっかけを求めているだけです。適切な関わりをすることで、自立・就労に向かっていける存在です。このプロジェクトによる寄付金は、女の子たちの自立支援のために活用いたします。

古本の集荷・仕分け・買い取りは株式会社バリューブックスが行います。取り扱い古本の内容などは、こちらにお問い合わせください。

株式会社バリューブックス 古物商免許：長野県公安委員会第481100800018号  
〒386-0041長野県上田市秋和537 TEL: 0120-826-295 E-mail: [info@value-books.jp](mailto:info@value-books.jp) <http://www.valuebooks.jp/>

## ○お申し込み方法

□ ネットで申し込む ▶ <https://www.charibon.jp/donation/action.cgi>

## ☎ 電話で申し込む

### 1 不要になった書籍を段ボールに詰めます。下の申込書をプリントアウトし、ご記入の上、本と一緒に入れます。

※ダンボールが複数になる場合でも、申込用紙は1枚で大丈夫です。 ※古本は5冊から、揃って受け付けます。  
※18歳未満の方は、保護者の方をお願いしてお申し込みください。

### 2 株式会社バリューブックス 0120-826-295 に電話。

「本っとうありがとうプロジェクトに申し込みたいのですが…」と、伝えてください。

●電話受付時間： 月～土 10:00～21:00 / 日 10:00～17:00

宅記業者がご指定の時間に引き取りにうかがいます。 ※ヤマト運輸の集荷を手配します。 ※古本は5冊から、揃って受け付けます。

### 3 株式会社バリューブックスにて、買い取られます。買い取り金額は、NPO法人「bond Project」に寄付されます。

### 4 NPO法人「bond Project」にて女の子たちの自立支援に生かさせていただきます。

# 「本っとうありがとうプロジェクト」申込書

あなたの本が、女の子たちの自立支援に役立てられます。

「本っとうありがとうプロジェクト」へのご参加、ありがとうございます。「本っとうありがとうプロジェクト」は、みなさまから本を寄贈して頂き、その売却代金をご寄付として、女の子たちの自立支援に役立てるものです。お手数ですが、下記「贈与承諾書」をお読みの上、ご同意いただけましたら、署名欄にサインをお願いいたします。

### ●贈与承諾書

- 私は、私が所有する本を、株式会社バリューブックスに売却し又は引き渡し、その売却代金をNPO法人BONDプロジェクトが受領することを承諾します。なお、私は、NPO法人BONDプロジェクトが本件物品を贈与することが目的ではなく、NPO法人BONDプロジェクトが本件物品の売却代金を受領することをもって、寄付行為とするものであることを確認します。
- 私は、理由を問わず、本件物品の返還、買い取り相当額の支払いを株式会社バリューブックスおよびNPO法人BONDプロジェクトに請求しません。
- 私は、NPO法人BONDプロジェクトと株式会社バリューブックスが、本書に記載された私の氏名等の個人情報を、本プログラムの目的にのみ使用することを承諾します。

### ご注意

以下の本は取り扱えませんので、ご了承ください。  
ISBNのない本、百科事典、コミック、個人出版の本、マンガ雑誌、一般雑誌は取り扱いできません。

※取り扱えない本が混入しても、費用の負担などは生じません。

ISBN978-4-1234-5678-9  
ISBN見本

ご署名日 年 月 日

ご署名	ふりがな	送付段ボール総数
団体名	団体での申し込みの方は団体名と担当者名をご記入をお願いします。	個

「本っとうありがとうプロジェクト」のご報告をさせていただきますので、以下に、ご記入ください。

ご住所	〒	電話
E-mail	団体での申し込みの方は団体名と担当者名をご記入をお願いします。	生年月日 西暦 年 月 日
		□案内等を希望しない

何を通して、「本っとうありがとうプロジェクト」を知りましたか？

- 新聞  ホームページ  メルマガ  twitter / mixi / facebook (該当するものに○)  
 知人  イベント ( )  その他 ( )

団体ID  
13

女の子たちの自立支援のための  
「本っとうありがとうプロジェクト」